

様式6〔申し合わせ事項1-(5)、2-(5)、4-(4)〕

令和 元年 8月 8日

東員町議会 教育民生常任委員会

委員長 三林 浩 様

東員町議会 教育民生常任委員会

委員長 三林 浩

研 修 報 告 書

研修期間	令和 元年 8月1日(木) ～ 8月2日(金) 【2日間】
研修(視察)先	1. 東京都八王子市役所 2. 東京都北区防災センター
目的(テーマ等)	1. 八王子市役所 1) 防災について ①地域を活かした(風水害と地震)「総合防災ガイドブック」の作成から配布について ②防災無線の活用について ③地域や職場等で防災訓練をする人々への援助について ④その他 2. 北区防災センター 1) 防災について ①独自の防災アプリ ②女性視点の防災ブック ③地域の取り組み ④その他
資料添付の有無	有 無

*研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入下さい。



〔委員（議員） 氏名： 三林 浩〕

研修概要、内容、所感

1. 行程及び概要

月日	時間	場所	内容
8月1日	13時30分 ～ 15時20分	八王子市役所	①歓迎の挨拶（五間副議長） ②訪問の挨拶（三林委員長） ③防災について（五間副議長） ④事前質問の回答（五間副議長） ⑤質疑応答 ⑥お礼の挨拶（川瀬副委員長）
8月2日	10時00分 ～ 11時45分	北区防災センター	①歓迎の挨拶（木暮区議会事務局次長） ②訪問の挨拶（三林委員長） ③防災について（伊藤防災課長） ④事前質問の回答（伊藤防災課長） ⑤質疑応答 ⑥地震体験（震度7）

2. 所感

地震は起きる事を前提として向き合わなければいけないと痛感しました。

その為には「自助・共助・公助」の役割を理解する事だと思いました。

まずは家族で話し合いをしたいと思います。人は頭では分かっているけど経験もない為、本当の恐ろしさを受け入れられないのかなとも思いました。

昔から「備えあれば憂いなし」のことわざがあるように日頃からの準備の重要性をどうやって少しでも多くの人達に受け入れてもらうかが課題と思います。

本町と比較しますとお互い計画等がありますし、防災訓練も行っていますので大差ないように思いますが、私が思うに大きく2点あります。

1点目は計画等作成後のフォローです（PDCA）。本町はすべて行政に頼ることが多く、自助の部分が見えてこないのかなと思います。また、共助と公助の使い分けです。指示命令はあると思いますが、どちらも一方通行的で双方の議論が乏しく結論に至っていないため具体的に何をしなければならないかが明確になっていないように思います。

2点目は住民への周知方法です。「広報とういん」等で行っていますが、これは他市町でも最低限している事で、その割には知られていないことが多いと感じます。それ故に一番の課題かも知れません。

今回の視察先では、各家庭に分かりやすい「総合防災ガイドブック」の配布や若い

時から防災意識を高める（将来の担い手を育てる）為に学校の運動会に防災訓練を取り入れたリレー等を実施したり、女性視点が大切と女性リーダーを育てるための講習会を行ったり、防災出前講話等を実施しています。

また、自主防災組織等に対しては「自主防災組織ハンドブック」を作成したり、各地域で考えて地域性に合った自主防災組織資器材を助成する制度を取り入れたりして多くの住民に参加しやすい環境に力を注いでいました。

まとめとして一方的な提供だけでなく、将来への投資と自らが出向いて参加しやすい場を作ることで、色んな意見収集ができ、対策もとれて、住民も参加したという実感を持ち意識の向上に繋がればいいと思いました。

最後に本町は財政的な事もありますが、私は将来を見据えた健全で安全・安心なまちづくりの為に取り組む行動をしたいと思いました。